

教育 子午線

Kyoiku-Shigosen

June, 2015
vol.38



◎教育最前線
就学前教育

- ◎研究レポート
言語習得理論に基づく
小学校英語教育のプログラム開発
- ◎ワタシのイチオシ
- ◎うれしの掲示版



わが国では少子化が急速に進んでおり、平成26(2014)

年の合計特殊出生率は前年を下回る1.42となっています。そこで、社会全体で子育てを支える仕組みとして、24(2012)年に「子ども子育て支援法」「認定こども園法の一部を改正する法律」「関係法律の整備等に関する法律(児童福祉法等の改正)」が制定されました。この内容は、質の高い幼児期の学校教育・保育の総合的な提供、保育の量的拡大・確保策の展開、地

域における子ども・子育て支援の充実を図るものです。そこで、従来の子育て支援施策「次世代育成支援行動計画」も踏まえ、27(2015)年3月までに地方自治体を中心に地域の子育て支援を充実する計画が急ピッチで作られました。

わが国ではこれまで健やかな子どもの育ちを促すという就学前教育の理念は同じものでありながら、幼稚園と保育所は明治初年から二元化が続いていました。しかし現在、北欧やニュージーランド等の幼児教育先進国は幼保一元化が実施されています。

かつて、養護と教育の融合を考慮しながら、長い目で一人一人の子ども

の発達をしっかりと見て保育するという、子どもの健やかな発達を促すことに着目されていることが挙げられます。一方、18(2006)年には、ヘックマンをはじめとする経済学者らが社会投資的な観点から、乳幼児期への投資効率が低いことを指摘しました。この結果、OECD(経済協力開発機構)で就学前教育について議論され、各国の政策に影響を与えています。また、就学前教育の質が貧困と関連していることも示されています。

その理由として、乳幼児期の遊びを通して形成された情緒の安定、認知能力、社会性は学びの基礎であること、また、その能力の獲得は親の就労形態によつて区別されるものではなく、乳幼児は等しく同じ保育を受ける権利があることが挙げられます。さらに、少子化の時代だからこそ、異年齢の中での関わりは成長にとつとも大切なことです。した

教育最前線

就学前教育

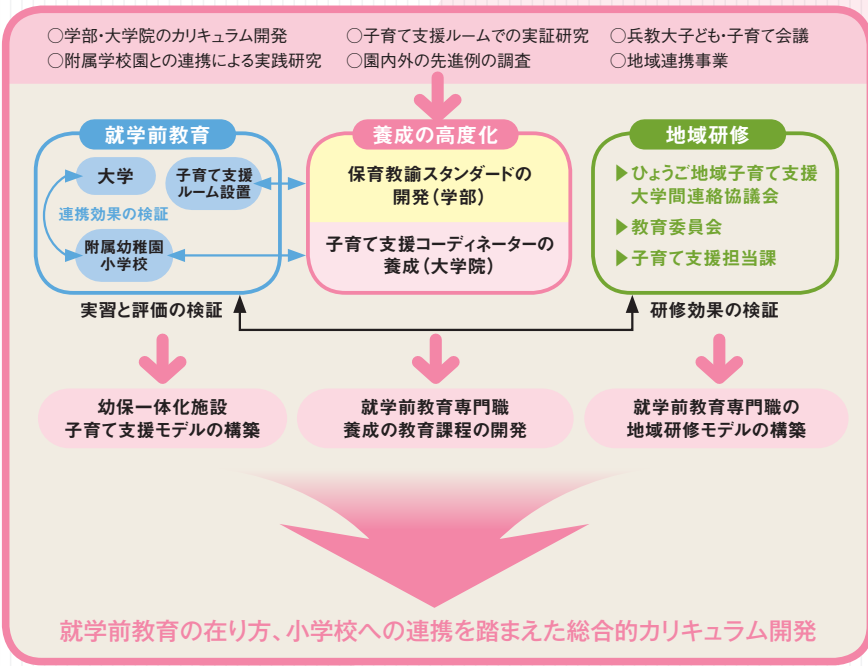
就学前の乳幼児の教育・保育の質の向上のため、平成27(2015)年4月から「子ども・子育て支援新制度」がスタートしました。子育ての社会化として、認定こども園を含めた子育て支援のさらなる充実が進んでいます。兵庫教育大学でも子育て支援ルーム「GENKI」を開設し、学生の専門職性と地域の子育て支援事業の充実を目指して取り組んでいます。



なすかわともこ
名須川知子

副理事(就学前教育・研究推進担当)
幼年教育コース教授
就学前教育カリキュラム研究開発室室長

【図1】就学前教育カリキュラム研究開発の構造図



「一元化は無理でも、施設機能が一体化に向かうのであれば、このことをきっかけに保育内容の均質化と未来をつくる子どもに掛ける投資にも期待でき、親と保育者、そして地域の大人による社会での子育てにつながつていくことが期待されます。」

そのような国の方策の中、兵庫教育大学では、幼年教育コースを中心に、小学校に入学するまでの0〜5歳児を対象にした教育の充実を図

る研究を進めています。まず、幼稚園教諭・保育士(合わせて「保育教諭」を養成する立場として、「保育教諭スタンダード」の策定や大学院での「子育て支援コーディネーター」の資格取得を実施しています。これも国立大学初の、兵庫教育大学独自のものです。

これらを研究の柱として、26年度からは文部科学省特別経費プロジェクト(高度な専門職業人の養成や専門教育機能の充実に採択された事業「大学の機能強化としての就学前教育専門職養成の高度化と幼小連携を含めた総合的カリキュラム開発」を展開しています【図1】。一連のプロジェクトを「ブレ研」(就学前教育IIプレスクールの研究)と呼んでおり、その一環として子育て支援ルーム「GENKi」の設置と、地域に貢献する形での研修を行っています。

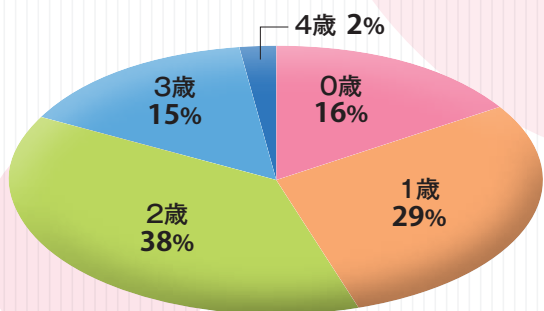
GENKiの名称はGeneration(世代)・Education(教育)・Nursery(保育)・Kids(子ども)というキーワードの頭文字で、昨年10月、加東キャンパス山国地区にある「やまくにプラザ」内に開設しました。開所以来、27(2015)年4月末まで200人の登録者を数えるまでになっています【図2、3】。子どもの年

【図2】GENKiの登録者数の推移



齢は0〜2歳が8割以上を占め、毎回、新しい親子が訪れています。GENKiでは、幼保一体化として、附属幼稚園との連携も強化しています。0〜2歳は親子で来て、ゆったりと時間をかけて良い親子関係を築くことを第1の目的としています。そして、3歳からは幼稚園への入園で友達との関わりの中に入っていきます。また、孤立しがちな親同士や、学生、祖父母世代といった多世代の交流の場にもなります。このように、子どもをめぐってさまざまな世代の人たちが継続して関わることで、お互いに育ち育てられ、大学や附属施設を中心とした地域「コミュニティ」が形成されることを願っています。

【図3】年齢別の利用割合(4月末日までの年齢)



※合計特殊出生率:一人の女性が一生の間に生むとしたときの子どもの数(参考:厚生労働省ホームページ)

砂場

室内から直接出られるウッドデッキは、親子で安心して遊べるよう、衛生面に配慮した砂場があります。ここで砂場デビューした子どもたちも増えてきました。



子育て支援ルーム「GENKi」

教育最前線

広い室内で親子がゆったりと過ごしながらかつ仲間づくりや子育ての情報交換などをできる場所として、週3日、乳幼児とその保護者に無料で開放している子育て支援ルーム「GENKi」。理論と実践の融合を目指し、室内は細部にわたってさまざまな工夫を施しています。保育経験のある2人の専門スタッフがこだわりの一部を紹介します。

施設紹介

スタッフルーム

打ち合わせをするスペースやボランティアスタッフの荷物置き場などとして活用しています。

ボランティアの学生の声

卒業研究で子育て支援を取り上げたいと思い、4月から週1回のペースで通っています。保育士を目指しており、子どもと関わる機会を持てるのはありがたいですね。普段、学校では体験できないことを経験させてもらっています。特に、現場経験が豊富な先生方の子どもとの接し方は、見ていても勉強になります。

ちひら ゆりこ
知平由梨子さん
 学校教育学部
 幼年教育系コース4年



利用者の声



ほっとルーム



黄色とオレンジを基調にした親子のための休養室で、くつろげるようにソファや授乳用のついたてを用意。お薦めの絵本をたくさん用意し、座って読み聞かせできるようにカーベットを敷いています。

受付

受付で渡す名札は、ひと目で年齢が分かるように色分け。保護者がわが子より少し先の成長を確認できたり、同じ年齢の子を持つ親同士が会話するきっかけになったりします。



ここに通うようになって、娘が前より社会的になりました。人見知りや場所見知りをしなくなり、先生という存在の認識もできたようです。おもちゃが増えたり季節ごとに飾り付けが変わったりと、子どもが飽きないように工夫されているのもいいですね。

家から近く、オープン初日から通っています。ここにあるのは安全なものばかりなので、安心して遊ばせることができ助かっています。頭や体を使ういろいろなおもちゃが置いてあり、それらで遊んでいる様子を見て、娘は体を動かすのが好きなんだと発見できました。

最近は口コミなどで利用者がどんどん増え、1日に20~25組ほどが訪れます。子どもの発達段階を考えた工夫がいっぱいなので、保護者の皆さんにあらためてここの良さを説明しなくても、施設にあるものから感じ取ってもらえているからだと思います。また、ボランティアとして運営に携わっている学生たちには、ここでたくさんの経験を積み重ねて現場で生かしてほしいです。

いそのくみこ
磯野久美子
子育てアドバイザー
就学前教育カリキュラム研究開発室特命助教

専門スタッフ



たかはたよしみ
高畑芳美
子育てアドバイザー
臨床発達心理士
就学前教育カリキュラム研究開発室特命助教

もともと幼稚園の教員として発達障害のお子さんたちへの指導を担当していました。ここでは個別に時間を設けて相談に応じることもありますが、お母さんたちが構えなくてもいいような、さりげない「横並びの子育て相談」を普段から心掛けています。さいなこともかもしれないけれど保護者にとっては大事件というような悩みを聞いて、一緒に解決していければと思っています。

げんきルーム

ピンクが基調の優しい色合いの室内に、子どもたちが自由に遊べるこだわりのおもちゃがいっぱい。それぞれ、発達段階に応じた動線を考えて配置しています。



◎配置の工夫

出入り口付近では人の往来が気になって遊びに集中できずに走り回ったりすることがあるため、入室してすぐ目につく所には誰でも遊べるボールプールを、集中して遊べるまごとセットなどは奥の方に置いています。2歳以下の子向けには、おむつを替えやすいよう、ロッカーに近い場所に親子で遊べるスペースを確保しています。

◎スタッフ厳選のおもちゃ

子どもたちが何度も繰り返し遊び込むことができるような、年齢に合わせた良質なおもちゃを置いています。特に、木のおもちゃは少々乱暴に扱っても壊れず、手触りもいいのでお勧めです。角がなく、たとえ投げたりしても大きなけがにつながらないような大きさのものを選んでいきます。

(イチオシのおもちゃ)

ジャンピングカートレイン

ベック社

偶然に置いていただけでも木の車がコトコトと音を立てながら落ちていくので0歳児も遊べます。木製で角が丸く処理されているので安全です。



フェルトの魚

切り込みを入れボタンを付けただけの簡単な手作りおもちゃ。どんどんつけていくことが子どもには楽しく、遊ぶうちに手先が器用になります。



学生の手作りおもちゃ

さまざまな音が鳴るフェルトの積み木、魚釣りのセットなどは、学生たちが授業の一環で作成。完成後も子どもたちが遊ぶ様子を観察し、もっと喜んでもらえるようにと工夫を重ねたもので、保護者からも大好評です。



楽器コーナー

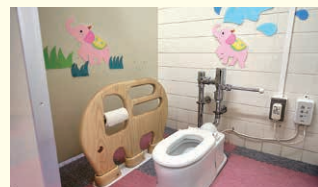


お絵かきコーナー

※げんきルームの遊具のレイアウトは変更することがあります

トイレ

子ども用トイレに温座を導入。トイレトレーニング中の子も、「温かい」と面白がって座っているうちに、パンツを脱いでできるようになります。成功体験が子どもの自信につながり、外出先でトイレに行けるようになったという子も。



インフォメーション

▶開室日時/月曜、火曜、木曜(祝休日を除く)9時~12時 ▶対象/主に0歳から未就園の乳幼児と保護者
▶問い合わせ/加東市山国2007-109 ☎0795-40-2231



すが い かず み
菅井三実
文化表現系教育コース
教授

●「理論と実践の融合」に関する共同研究活動とは、兵庫教育大学のミッションの一つである「教育実践学の推進」をより一層図り、その成果を国内外に発信し、学校現場や教育委員会のニーズに応えるため、平成23(2011)年度から「理論と実践の融合」に関する学際的な共同研究を教員から公募し展開しています。

言語習得理論に基づく 小学校英語教育のプログラム開発 (平成25・26年度「理論と実践の融合」に関する共同研究活動に採択)

【表】用法依存理論における英語獲得の4段階

	特有の表現	平均的な月齢
第1段階	一語文	12カ月
第2段階	軸語スキーマ	18カ月
第3段階	項目依拠構文	24カ月
第4段階	抽象構文	36カ月

平成23(2011)年度に小学5年生と6年生に對して小学校外国語活動(英語教育)が必修化されました。将来的には、中学年への拡張が予想されます。この流れの中で、本研究は、英語圏の子どもが母語としての英語を獲得するプロセスを体系化した「用法依存モデル」という理論に着目し、これを応用することで小学生にも無理のない方法で英語力を付けることができない

かを検証することを目的とするものです。用法依存モデルによると、幼児の英語獲得過程には、表に挙げたような四つの段階があるとされます。まず、月齢12カ月の幼児が使う「一語文」を小学生に導入してみました。一語文は、内容的には複数の語から成る意味を持ちながら形式的には一つの語のように用いられる表現をいいます。例えば、「I want a do-it(それ欲しい)」、「Lemme see(えー)」、「Here we-go(さあ、やろう)などのように、大人から聞いた発話を一つの

「固まり」として認識し、そのまま使えばよいもので、授業でも児童は一語文を非常にスムーズに習得しました。「習得した」と言えるのは、USB型レコーダーを児童の胸に装着し、練習中の児童の発話を確認していたからです【写真】。一語文は、有用な表現なのに中学校以降で学ぶ機会が少ないので、早い段階で導入することが望まれます。

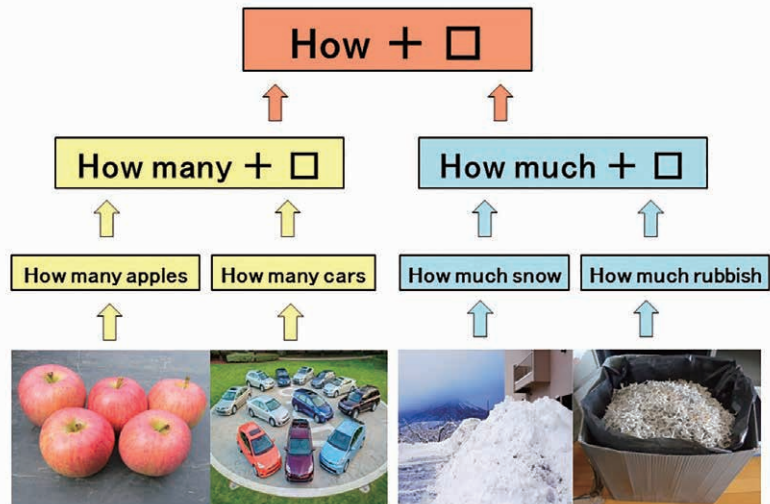


【写真】USB型レコーダー

第2段階の「軸語スキーマ」とは、例えば、「It's + □(それは□だよ)や Where is + □(□はどこなの)などのように、変数(□)と定数を含む短いパターンのことで、変数を入れ替えることで自由に表現を作

れるものです。今回の研究では、可算名詞に対する How many girls や How many apples から How many + □ が習得され、発展的に、How much snow や How much rubbish から How much + □ が習得されることを確認しました。さらに、How long という表現の習得に成功したことから、児童は、もう一

つ抽象度の高い How + □ という軸語スキーマを形成したことが示唆されます【図】。全体の結論として、用法依存モデルの知見は日本の小学校英語教育にも有効であると考えています。今回の結果を基に指導法を体系化し、その考え方や具体的な教材を現場の先生方に提供することが今後の課題です。



【図】軸語スキーマの形成

パソコンは断然Mac派

アップル社のパソコンとの出会いは、国際深海掘削計画でインド洋を航海中に船上で。「きれいに絵が描けるので、これや!と思いましたね」。初代は兵教大に就職した年に冬のボーナスをはたいて購入したMacintosh Plusで、現在は小和田善之教授の部屋に鎮座しているとか。もちろん、今もパソコンやスマートフォンはアップル社製で統一し、常に持ち歩いているMacBook Airは講義でも活用している。



マグカップにもアップル

毎日、研究室でのティータイムに愛用しているマグカップは、20年ほど前に学生からプレゼントされたもの。「アップル社のロゴが今と違って虹色ですからね。貴重でしょう」



フィールドワークのお供

地層の方向や傾斜を測るクリノメーターと3代目となるハンマーは、放散虫が集積してできたチャートなどを採取する際のマストアイテム。ゼミ生らを引率する時は加西市や多可町など北播磨地域が中心で、場所が分かれば1日で終えるという。



先生に質問!



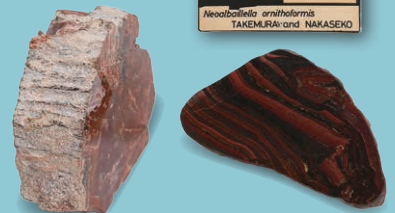
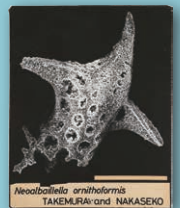
癒やしの音楽

iPhoneに好きな曲を入れ、片道1時間の通勤時に車中で流しているという。ジャンルはクラシック、演歌のどちらか。「眠くなったときは村田英雄。窓を閉めて、一緒に歌っています」



化石コレクション

オーストラリアで購入した20億年ほど前の綿状鉄鉱床や、米国で入手した2億年前の珪化木をはじめ、世界各国の多種多様な化石を数多く所有している。「小学校の授業などで披露すると、目を輝かせて喜んでくれるんですよ」。右は学生時代に初めて新発見し、論文に書いた思い出深い放散虫。古生代最後のものと判明したそう。



竹村厚司 教授

認識形成系教育コース
〔自然系教育分野(理科)〕

大阪府出身。昭和55(1980)年京都大学を卒業後、60年に同大学大学院理学研究科博士課程を修了。63年に兵教大の教育学部助手となり、助教授、准教授を経て平成22(2010)年から現職。研究分野は地質学と古生物学で、中でも日本とニュージーランドの放散虫化石が専門。授業は「生命と地球の科学」(学部)、「理科教科内容論Ⅶ」(修士課程)などを担当。

Q 先生が専門としている放散虫とは。

A 海のプランクトンの一種で、国内でよく見られる化石です。5億年前から地球上に存在し、大きさは0.1ミリのほど。日本は放散虫の研究が盛んで、世界の研究をリードしている面もあります。まだまだ研究する余地がたくさんある面白い分野で、新しいものが見つかったときは非常に楽しいですね。半年前にも中国地方で一番古い化石を発見して学生が卒業論文で書きました。

Q 化石の研究で分かることは。

A まず、地層の年代が決まります。それによって昔の生物がどういった生活をしてどのような進化をしてきたか、さらに当時の地球環境についても明らかにできます。他にも、石油などの資源探査や、建物を建設する前に行う地質調査にも役立てられています。

Q 指導で心掛けていることは。

A 学生たちは教員を目指しているのですが、自分自身で考えられるように頭の訓練をすることです。そして、専門ではない人にもきちんと分かりやすく説明できるように指導しています。そのため、卒業論文を書いた後にしっかりとスライドを作ってプレゼンテーションしてもらいます。発表会には2〜4年生や大学院生も参加するので学生にはかなりプレッシャーになるようですが、そこまでしなければ本当の意味での勉強になりませんから。



くわ はら けん すけ
桑原健介さん
福岡県岡垣町立戸切小学校教諭

福岡県出身。平成9(1997)年、学校教育学部生活健康系体育コースを卒業後、福岡県の公立小学校に勤務。学力向上や学級づくり力を入れている。

→朝の時間に、楽しく音読をしている様子です



とにかく教員自身が 楽しいと思うことが重要

私 は今、最高に楽しく教員という仕事をしています。さまざまな経験を通して、授業づくりでは「楽々かんたん授業」、学級づくりでは「笑顔あふれるハッピー学級」を目指して日々取り組むようになりました。これらにより、子どもたちが毎日楽しく学校生活を送り、自己重要感も高めることができると考えています。

そのためには、とにかく教員自身が「楽しい」と思うことです。人と比べるのではなく、今の自分は以前より成長していると考え、最高に楽しく教員という仕事をしていきます。そうして自己重要感が満たされると、自分らしさを出せるようになって楽しくなります。兵教大の皆さんも毎日笑顔で楽しく過ごしていることでしょう。その気持ちが教員になった後も一番大切だと思います。在学中も卒業後も、自分が楽しいと思える毎日を送ってください。

私もさらに自分自身が楽しいと思える実践をし、子どもたちを伸ばしていけるように頑張ります。



いの うえ とも こ
井上朋子さん
兵庫大学短期大学部専任講師
四天王寺大学非常勤講師

神戸市出身。大阪教育大学を卒業後、修士課程(小学校教員養成プログラム)を経て平成24(2012)年に博士課程修了。博士号取得。現在は、兵庫大学短期大学部、四天王寺大学で音楽指導を行っている。

→赤穂市内の小学校での音楽鑑賞会「展覧会の絵」の絵



夢を持ち続け 一つ一つの経験を大切に

学 部時代はピアノに無我夢中で取り組んでいましたが、音楽の楽しさを子どもたちに伝えたいと小学校教員免許を取得できる兵教大大学院に入学しました。

務し、研究と実践に没頭できる貴重な環境に恵まれました。いつかは大学教員になりたいという思いが届き、現在は保育者や小学校教員を目指す学生の指導をしています。演奏や研究活動も続けており、先日は関西フィルハーモニー管弦楽団との共演という長年の夢をかなえることができました。

夢を持ち続け、人との出会いを大切にすることが、今の私につながっています。在学生の皆さんも一つ一つの経験を大切に、目標に向かって進んでください。

▶同窓会・都道府県連携推進本部からのお知らせ

第35回大学院同窓会総会・研究大会in宮城の開催

大学院同窓会は各都道府県支部の持ち回りとしており、今年は宮城県で開催します。詳細は「Hyokyo-net」をご覧ください。

- ◎開催日 8月1日④、2日⑥
- ◎会場 ホテル白萩(仙台市)
- ◎内容 修了生の教育実践研究活動等に係る表彰、教育実践発表講演(講師:加治佐哲也学長、畠山重篤NPO法人森は海の恋人理事長)、震災遺構候補施設や松島などの見学

学

業に打ち込む傍ら、市民ランナーとしてほぼ毎月、時には2週続けてマラソン大会に出場。数々のレースで好成績を収め、11月に開催される第1回おかやまマラソンでは初めて招待選手に選ばれた。

初マラソンは平成23(2011)年2月。大学卒業を間近に控え、中学から続けてきた陸上競技をやめる前の最後の思い出にと出場した。記録は2時間43分1秒。「教員の新任研修を受けている最中に、『あと1分早ければ福岡国際マラソンに出られたのに』という先輩の言葉を思い出し、その大会に出たいとまた走り始めました」

春からは技術科教員として働きながら、まずは11月の大阪マラソンで2時間40分を切ることを目標に、出勤前や帰宅後に練習を重ねた。そして迎えた本番、設定タイムを大幅に上回ったことで、「一気にめり込んだという」。

以来、休日を利用して全国各地の大会に参加。「知らない道を走れることがマラソンの醍醐味です。沿道で太鼓やダンスの応援があったり、名物料理が並んでいたりと地元の温かいもてなしも大きな魅力ですね」

一方、赴任した特別支援学校では教員として大きな壁にぶつかる。「自分の中に引き出しがなさすぎて無力感に襲われました」。もう一度学び直したいと、1期生だった父親の母校である兵教大大学院に入学。現在は研究の合間を縫い、キャンパス周辺を毎日走っている。

印象に残っているレースに、今年2月の東京マラソンを挙げる。大会2日前、痛めていた太もも裏の肉離れが再発。それを気にするあまり、当日もずるずるとペースが落ちていった。「32キロで『何のために出てるんや』と自問自答し、思い切ってスピードを上げました。意外にも、そのまま最後まで走り切れたのです」。結果的に自己記録を2年3カ月ぶりに更新する好タイムとなった。

「何事も最後まで可能性があるうちは諦めたら駄目だと実感しました。マラソンで得た経験は、教員に戻ってから生徒たちに伝えたいです」

諦めないことの
大切さを
生徒に伝えて
いきたいです

キラリな人 SHINY PERSON

ひがし だ かおる 東田 薫さん

修士課程
行動開発系教育コース2年

昭和62(1987)年、大阪市生まれ。大学卒業後、大阪市立視覚特別支援学校で中学部技術科を3年間担当。平成26(2014)年に大学院入学。主な戦績は第22回津山加茂郷フルマラソン全国大会連覇、第26回加古川マラソン総合優勝など。自己ベストは東京マラソン2015の2時間26分1秒。



今年4月に出場した和歌山県新宮市の「第17回奥熊野いだ天ウルトラマラソン」では、65kmの部門で連覇を達成した



～第12回(平成26年度)学生生活実態調査報告書から検証～

オープンキャンパスと大学院説明会

**兵教大を知る絶好の機会
多くの在学生が利用**

学部生の4割強がオープンキャンパスに参加しており、入学先を考えるきっかけとする学生は多い。

オープンキャンパスは毎年7月に開いており、今年度は7月19日⑩に開催。主なプログラムは大学概要説明、在学生の体験談や修学支援に関する個別相談など。それ以外の期間には各地で入学ガイダンスも行っており、本学教職員が個別相談に応じる。

また、大学院生は半数以上が全国5会場で開催する大学院説明会に参加している。同説明会では在学生(修了生)による体験談、各コースおよび事務担当者による個別相談などを行う。

今年度のスケジュール

▼学部／オープンキャンパスは今号の裏表紙を、入学ガイダンスは兵教大ホームページ「入試情報」を参照

▼大学院／今号の裏表紙参照

学部への入学を検討されている方が対象の「オープンキャンパス」は、例年7月に加東キャンパスで開催し、毎年、1,500人前後の来場者があります。内容は盛りだくさんで、教員を志望する学生たちがどのような環境でどんな学びや活動をしているかを1日で体験できるとも良い機会です。大学院に入学を検討している方が対象の「大学院説明会」は、例年5月から1月にかけて全国で、土曜日に計15回開催しており、本学でどのような学びができるかを詳しく知る貴重な機会です。兵教大のウェブサイトで詳細をご覧ください。

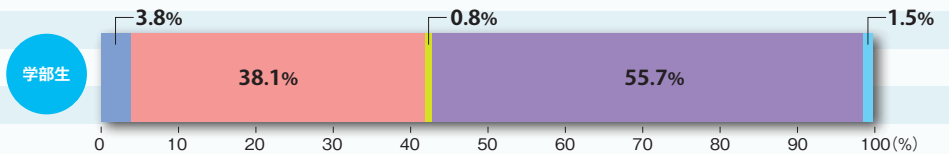
大学を知るきっかけに
ぜひ参加を



たにはやし みち あき
谷林 啓明
企画課副課長

本学のオープンキャンパスや進学ガイダンスに参加したことがありますか

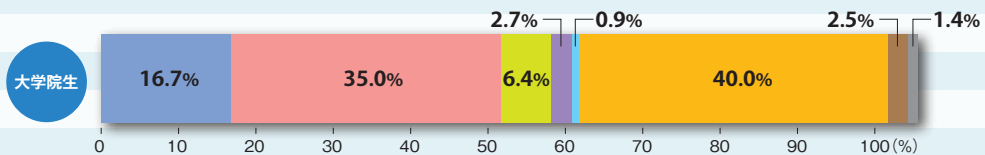
■…オープンキャンパスと進学ガイダンスのどちらにも参加した ■…オープンキャンパスに参加した
■…進学ガイダンスに参加した ■…どちらにも参加したことがない ■…その他



大学院説明会に参加したことがありますか

(「修士課程」「専門職学位課程」の者のみ。複数回答可)

■…加東会場の大学院説明会に参加 ■…神戸会場の大学院説明会に参加
■…大阪会場の大学院説明会に参加 ■…東京会場の大学院説明会に参加
■…福岡会場の大学院説明会に参加 ■…参加したことが無い ■…その他 ■…無回答



数年前から大学院での学びを漠然と夢見ていましたが、とにかく一度様子を見に行ってみようと思い、本学での説明会に参加しました。その時に「学校現場の実践を理論で見直し、理論と実践の融合」という先生方の話にわくわくし、さらには、「いくつになっても学び直しはできる」という在学生の方の言葉に勇気をもらったことを、今でも鮮明に覚えています。それは、私がおそらくと大学院受験を決めた瞬間でした。まさに、「百聞は一見にしかず」です。あの大学院説明会でのさまざまな出会いのおかげで、今、仲間と励まし合いながら思う存分学生生活に集中できる幸せな毎日を過ごしています。

人との出会いが
決断を後押し



いけ だ ひろ こ
池田 広子さん
大学院修士課程
学校心理・発達健康教育コース2年

私は小学生のころから教員になりたいと思っており、漠然とですが兵教大に入学したいと思っていました。しかし、本気で志望校を決定しようとする他大学と迷うことがありました。そんな時にオープンキャンパスに参加し、さまざまな企画を体験していく中で本学の魅力を感じ、やっぱり入学したい!とはっきり思うことができました。しっかり大学を知ることが大事だと思いますが、自分が本当にやりたいことを再確認できるチャンスでもあると思うので、ぜひオープンキャンパスに参加してみてください!

自分の進む道を
はつきりさせる機会に



ひら た こう や
平田 耕也さん
学校教育学部
自然系コース2年

心が癒やされる 歌詞に引かれます

RURUTIAは癒やしの女神ともいわれ、彼女の歌は人の心を動かします。魂まで届くような不思議な歌声は、まるで夜明けを告げる鳥の鳴き声のように聞こえます。夢を抱いて現実という壁を乗り越えようとする私たちは、人と言えない悩みや悲しみもいつばいあるでしょう。もし人生の道に迷う日が訪れたら、彼女の「ロストバタフライ」を聴いてみてください。「さあ押し潰すような現実 は きっと君を変えらるだろう 変わるから君は君で 在り続けるのさ」。聴くたびに心が癒やされます。



RURUTIA
「LOST BUTTERFLY」
発売元/USMジャパン

又吉直樹
「火花」
文藝春秋



直樹さんと、著者である又吉直樹さんとのファンなので興味があり、読んでみました。本書では、漫才師である先輩・神谷と後輩・徳永が、それぞれの「笑い」を語り合う中で、「人を笑わせる」とはどういうことかについて追求しています。「笑い」に対して一点の曇りもなく自己を貫く神谷と、理想と現実の間に「笑い」を見いだそうとする徳永。懸命に「笑い」を追い求める二人の生き方は、多くの人を感動させることでしょう。技巧豊かな文章に想像をかき立てられる作品となっています。ぜひ、ページをめくってみてください。

人を笑わせるとは どういうことでしょうか

「授業に役立ちそう」なんて 思いながら観るのも面白いかも

ジブリ好きの私が紹介したいのは、「となりのトトロ」です。絵の美しさはもちろん、主人公の姉妹のいつも全力でヒュアな姿に引かれます。今回お薦めしたいポイントは、小学校の授業に役立つ点です。主題歌が音楽の教科書に載っていたりしますが、ぜひ社会科でも使ってみてください。時代設定が昭和30年代とあって、蚊帳や七輪、井戸ポンプやオート三輪など今では見ることのない道具がたくさん出てきます。昔の道具や暮らしについての学習にぴったりです。道具に目を向けてこの作品を見れば、ストーリーを楽しみながら教材研究ができるのではないのでしょうか。



となりのトトロ (DVD)
発売元/ウォルト・ディズニー・スタジオ・ジャパン
©1988 二馬カ・G ¥4,700 (税抜)

しさん
施 姍さん
修士課程
教育コミュニケーションコース1年



さかもとまりこ
坂本真理子さん
専門職学位課程
小学校教員養成特別コース3年



ワタシのイチオシ

心に残る映画、つい口ずさむ音楽、
行きつけのスポットや思い出の冊子。
みんなにも薦めたい私のお気に入りを紹介。

社中央公園ステラパーク
加東市社



おおにし そう へい
大西草平さん
学校教育学部
社会系コース4年



みや た こう た
宮田広太さん
学校教育学部
生活・健康系コース3年



私のイチオシスポットは社中央公園ステラパークです。場所は本学から学園道路に沿って約7、8分下つていき、「嬉野」の交差点を少し過ぎた所にあります。イチオシポイントは天気の良い日は日当たりが良く、風通しもいいのでとても気持ちが良い所です。周辺も落ち着いた雰囲気、静かな時間がほしい人には最適です。また、学校帰りの子どもたちが遊んでいたり、休日にはさまざまなイベントの会場にもなったりと、まちの憩いの場として活用されています。季節によっては夜にライトアップされていて、とてもきれいです。ぜひ、行ってみてください。

ステラパークで 憩いのひとときを

催し

理科&科学の 地域でのサイエンス祭

市

学校の理科の授業では、じっくりと触れることのできないような実験機器を用意し、子どもたちが自主的に科学実験を楽しみ、感動体験を持つ環境をつくり出すことで、理科好きの子どもたちを増やし、科学への興味・関心を育みます。



- ◎日時／7月30日(木)～8月2日(日) 13:00～16:00
- ◎場所／小野市うるおい交流館エクラ(小野市中島町72) ハートフルサロン
- ◎内容／実験機器展示コーナー、パネル展示コーナー、夏休みの課題サポートコーナー
- ◎その他／危険な機器があるので、小学3年生以下の児童は保護者同伴での参加をお願いします。また、参加に係る障害保険等の加入についても、必要に応じて各自をお願いします。
- ☎ 社会連携センター ☎ 0795・44・2409 ☎ 0795・44・2320

教材文化資料館 平成27年度前期展 「音読のひみつー脳の活性化と教育ー」

学教市

「声に出して読むー音読する」をテーマに、脳科学から発見された音読の秘密や良い声を出す秘密など、国語教科書の歩みとともに構成しています。また、音読教材や脳科学を取り入れ成果を挙げている教育現場についても紹介します。早口言葉のトレーニングなど、楽しめるコーナーも。



- ◎開催期間／8月31日(日)まで
- ◎場所／教材文化資料館(附属図書館内)
- ◎開館時間／平日8:30～22:00、土曜・日曜・祝休日10:00～17:00
- ◎休館日／8月12日(水)～14日(金)、22日(土)
- ※臨時休館する場合がありますので、附属図書館のホームページなどで確認してください
- ☎ 教材文化資料館 ☎ 0795・44・2362

第34回教育実践学フォーラム 「子どもの発達の多様性と それを支える社会的環境」

3月7日 大阪大学中之島センター

連合学校教育学研究科における情報発信や地域貢献を目的として毎年開催しているもので、今年度のメインテーマは「学力や健康に関わる社会的要因と個人的要因ー対立を超えてー」。ゲストスピーカーの鳥取大学地域学部の寺川志奈子教授は、共に遊ぶことや楽しさを共有することの重要性など、10年間にわたるコホート研究結果から得られた知見を紹介。参加した現職教員や大学院生は熱心に聞き入り、質疑応答も活発に行われました。



平成27年度 外国人留学生歓迎パーティー

5月15日 大学会館(食堂)

国際交流センターが主催し、加治佐哲也学長や役員をはじめ、本学関係者、在校生、安田正義加東市長、藤本謙造加東市教育長、国際交流協会役員、フレンドシップファミリーなど約120人、新入留学生約40人が出席。新入留学生の代表者は「勉強だけではなく、友達をつくり、国々の文化の違いを学びたい」とあいさつしました。本学のチアリーディング部やよさこい部、留学生有志によるパフォーマンスや演武、歌などが披露され、会場は一体となって盛り上がりました。



【情報の対象】 学=学部生・大学院生 教=現職教員 市=一般市民

募 集

公開講座の受講生 教市

教員養成大学の特色を生かしたラインアップで、皆さんの学習意欲に応えます。

日=日時 所=場所 対=対象 定=定員 料=受講料 申=申込期間

絵画制作

絵画の制作を通し、表現・創作の楽しさを味わうとともに、材料や技法についての知識を高めます(申込者が5人以下の場合は開講しません)。

日 9月19日(土)、20日(日)、26日(土)、27日(日)
10:00~16:00(全4回) 所 加東キャンパス
対 一般市民 定 20人 料 ¥ 8,800円 申 8月31日(日)まで(先着)

身につける小さなアートづくり

芸術性あふれる金属製の小さなオブジェやアクセサリーを制作し、アートを身近なものとして体験します。

日 10月4日(日)、11日(日) 13:00~16:00(全2回) 所 加東キャンパス 対 一般市民
定 15人 料 ¥ 5,460円 申 9月14日(日)まで(先着)



↑絵画制作

社会連携センター ☎0795・44・2053、2409 ☎0795・44・2320

2月～5月の主な出来事

特別支援教育モデル研究開発室
「第3回発達障がい支援
アドバンスド講座」

2月7日 神戸ハーバーランドキャンパス

インクルーシブ教育について考えるパネルディスカッションには、特別支援学校の教員など約60人が参加。本学の樋口一宗教授の進行の下、岐阜市立岐阜特別支援学校の神山忠教諭、東京大学の中邑賢龍教授、本学宇野宏幸教授が地域支援の現状と課題から将来の地域支援を担うリーダー像などについて意見を交わし、最後に加治佐哲也学長があいさつしました。また、計30人が参加した2つのワークショップ型研修では、演劇づくりを通して気づきを促すコンサルテーションの在り方やワールド・カフェでの対話から特別支援教育の共通解をどう育むかなどについて理解を深めました。



板書の達人・田山修三氏の講演会

2月8日 共通講義棟106号室

教材文化資料館開館5周年記念展「めざせ!板書の達人」の特別イベントとして、板書のエキスパートである北海道教育大学岩見沢校の田山修三特任教授による講演会を開催。学生や教育関係者など181人の参加者は、田山特任教授の巧みな話芸と魅力的な資料に引き付けられました。



講演会後のアンケートでは、「非常に役に立つ内容だった」「ぜひ、また開催してほしい」といった声が多数寄せられました。続く関連イベント「第1回板書の達人」の表彰式では、受賞者(教材文化資料館ホームページに掲載)に賞状と記念品が手渡されました。



たま き あつ こ
玉木敦子

兵庫教育大学附属小学校教諭

子どもの褒め方、叱り方のポイントは何かですか。

褒められることによって、子どもは「誰かに自分を認めてもらいたい」という欲求を満たし、自己存在感を味わうことができます。「褒めよう」と構えるよりは、「簡単な言葉でもよいので、機会を逃さず、良い行いの価値を率直に伝えるようにしましょう。」

褒め方のポイントは、

- ①結果だけではなく、努力している姿やその過程を褒める。
- ②「何を褒めるか」を明確にし、具体的に褒める。
- ③言葉や態度に喜びを表して、心を込めて褒める。

の3点が挙げられます。

③の「心を込めて褒める」は、特に大事にしたいポイントです。子どもを動かすために意図的な褒め言葉を使うと、うわべだけになり、かえって信頼関係を浅いものにしてしまう

こともあるからです。

子どもたちのより良い成長のためには、時には厳しく叱ることも必要です。正すべき行動や行為については、迅速かつ的確に、毅然とした態度で指導したいものです。

叱り方のポイントは、

- ①人格を否定するのではなく、誤った行動について叱る。
- ②指導方針に一貫性を持ち、公平に叱る。
- ③成長を促すチャンスと捉え、短く、本気で叱る。

の3点が挙げられます。

叱った後は、責任を持って見守りや見届けを行います。子どもはもちろん褒められることが好きです。でも、叱られることも嫌いではありません。どちらか「自分のことをしっかりと見てくれている」というサインだからです。「褒めること」「叱ること」は、教員と子どもが互いに真剣に、しっかりと向き合う瞬間であるといえます。日々の生活の中で子どもの発するサインを見逃すことなく、積極的に関わっていくようにしましょう。



キャンパストピックス

CAMPUS TOPICS

神戸ハーバーランドキャンパスに「イノベティブラボ」を開設



4月、神戸ハーバーランドキャンパスにイノベティブラボ(通称:神戸ラボ)を開設した。教師教育の先導的モデルを研究開発する「先導研究推進機構」の活動拠点。平成28(2016)年度に教職大学院に開設予定の2コースのカリキュラム開発のほか、全国市区町村の教育長を対象とした教育行政トップリーダーセミナーを全国7カ所で開催する。

国際交流事業で功績を挙げた金助教を表彰

兵庫教育大学の発展に多大なる貢献をしたとして、金度亨助教に対し、加治佐哲也学長から表彰状の授与と記念品の贈呈が行われた。◎被表彰者▶国際交流事業等における多大な功績/金度亨助教(教育内容・方法開発専攻文化表現系教育コース)



吉本教授が兵庫県功労者表彰を受賞

吉本剛典教授(認識形成系教育コース)が平成27(2015)年の兵庫県功労者表彰を受けた。長年にわたり大学運営と学術研究に精励し大学教育の振興に尽くした功績をたたえられたもの。吉本教授は「多くの人に支えられながら、教育と地域の振興に微力を注いできたことによるものだと思います」と喜びを語った。





兵庫教育大学の 子ども・子育て支援の 先導的取組

「子ども・子育て支援新制度」が平成27年4月に本格施行されました。これは、すべての子どもと子育て家庭を対象に、幼児教育・保育と、地域の子ども・子育て支援を総合的に推進する新しい仕組みです。わが国の幼児教育や保育、子育て支援の量的・質的充実を図る上でエポックメイキングな制度改革といえますが、国立大学はその実施者とされておりません。

元来、教員養成系の国立大学には幼児教育を行う附属幼稚園が設置されています。今回の子ども・子育て支援新制度の創設によって、就学前の子どもたちの育ちと学びは、幼保一体化(認定子ども園増設)や子育て支援を包含する総合的・体系的仕組みの中で行われることとなりました。就学前の子どもたちの育ちと学びを研究し、また育ちと学びを支援する専門職を養成することを任務とする大学は、その研究と教育の範囲をこれらすべてに広げるべきです。新制度の対象とされていないからといってその機能を幼児教育(幼稚園)に留めておくことでは、新制度のもとでのわが国の就学前の子どもたちの教育・保育や子育て支援に対応できないと考えるべきです。

兵庫教育大学はこのような考えのもと、教師教育の先導的モデルの構築をミッションとしていることもあり、文科省の特別経費(研究プロジェクト)を受けて、本号の教育最前線に紹介のような研究と実践を組織的に推進しています。就学前教育専門職養成を目的とした教育課程と研修プログラムの開発、子育て支援ルーム「GENKI」における実践研究などの成果をもとに、新制度における本学の存在意義を高めるべく、今後の展開を次のように考えています。

大学院において就学前教育専門職の養成を始めるとともに、地域において研修プログラムを実施します。「GENKI」において培われた保育や子育て支援の機能を、附属幼稚園の幼児教育と統合・融合させて認定こども園の設立を目指します。また、就学前に留まらず、学童保育(放課後児童クラブ)についても、施設を更新し、対象児童を広げることで現在の取組を拡充します。これを進めるためには、地元自治体の理解と協力が不可欠であり、相互の支援や役割分担の仕組みをつくらなければなりません。

こうした先導的な、現在の研究とこれからの取組は、教師教育の全国拠点としての本学のミッション遂行の重要な一環となります。また、地域の子どもや家庭を対象とした本学の幼児教育・保育と子育て支援は、研究にもとづく専門的知見によるものであり、公私施設の提供するものとは異なることから、国立大学として格段の地域貢献の役割を果たすことになるといえるでしょう。

かじさつや
学長 加治佐哲也

兵庫教育大学 からの お知らせ



平成28年度 大学院学校教育研究科学生募集

平成28(2016)年度の入学生を8月選抜、11月選抜、3月選抜の3回に分けて募集します。

修士課程

◆人間発達教育専攻		クラス	8月選抜	11月選抜	3月選抜
教育コミュニケーションコース	昼間		7人	3人	若干人
	夜間		若干人	若干人	若干人
幼年教育コース	昼間		7人	3人	若干人
	夜間		若干人	若干人	若干人
学校心理・発達健康教育コース	昼間		10人	5人	若干人
	夜間		若干人	5人	若干人
臨床心理学コース	昼間		20人	10人	若干人
	夜間		—	10人	若干人
◆特別支援教育専攻					
障害科学コース			15人	5人	若干人
特別支援教育コーディネーターコース			8人	2人	若干人
◆教育内容・方法開発専攻					
認識形成系教育コース	社会系教育分野	昼間	12人	5人	若干人
		夜間	若干人	若干人	若干人
	自然系教育分野(数学、理科)	昼間	12人	6人	若干人
		夜間	若干人	若干人	若干人
文化表現系教育コース	言語系教育分野(国語、英語)	昼間	14人	6人	若干人
		夜間	若干人	若干人	若干人
	芸術系教育分野(音楽、美術)	昼間	10人	5人	若干人
		夜間	若干人	若干人	若干人
行動開発系教育コース	昼間	14人	6人	若干人	
	スポーツ健康系教育分野(保健体育)				
応用生活系教育分野(技術・家庭、工業、情報)	夜間	若干人	若干人	若干人	

専門職学位課程(教職大学院)

◆教育実践高度化専攻		クラス	8月選抜	11月選抜	3月選抜
学校経営コース	昼間		10人	5人	若干人
	夜間		若干人	若干人	若干人
授業実践開発コース	昼間		20人	10人	若干人
	夜間		若干人	若干人	若干人
生徒指導実践開発コース	昼間		10人	5人	若干人
	夜間		若干人	若干人	若干人
小学校教員養成特別コース			20人	10人	若干人

※平成28年度から、専門職学位課程(教育実践高度化専攻)において、上記4コースに加えて新たに「教育政策リーダーコース」(定員5人)と「グローバル化推進教育リーダーコース」(定員5人)を設置する計画です。開設準備が整い次第、当該コースに係る学生募集要項を公表し、入学者選抜を行う予定です。

8月選抜

- ◎出願期間 7月16日⑤～24日⑤(必着)
- ◎試験日 8月22日⑤(筆記・口述)
- ◎合格者の発表 9月11日⑤10:00

11月選抜

- ◎出願期間 10月15日⑤～23日⑤(必着)
- ◎試験日 11月21日⑤(筆記・口述)
- ◎合格者の発表 12月4日⑤10:00

3月選抜

- ◎出願期間 28年2月4日⑤～12日⑤(必着)
 - ◎試験日 28年3月5日⑤(筆記・口述)
 - ◎合格者の発表 28年3月17日⑤10:00
- ※各選抜とも出願状況によっては試験日の翌日にも試験を行う場合があります
- ※昼間クラスと夜間クラスのあるコースは昼夜開講制です。昼間クラスは加東キャンパスで、夜間クラスは主に神戸ハーバーランドキャンパス(神

⑤=問い合わせ先 ⑥=申し込み先

戸市中央区)で開講します(昼間、夜間の区別がないコースは全て昼間クラスです)

⑥入試課

☎ 0795-44-2067 ㊚ 0795-44-2069

✉ office-nyushi-t@hyogo-u.ac.jp

大学院学校教育研究科 説明会

大学院学校教育研究科(修士課程、専門職学位課程)の教育課程や専攻・コースの概要などについて説明します。個別相談や修了生・在学生の体験談を紹介する時間も設けます。

◎開催日 ※いずれも13:30から

加東キャンパス

10月10日⑥

※午前中に施設見学(希望者のみ)を実施

神戸ハーバーランドキャンパス(神戸市中央区)

7月11日⑤、9月12日⑤、26日⑤、28年

1月9日⑤、30日⑤

梅田スカイビル(大阪市北区)

9月19日⑤、28年1月23日⑤

AP品川アネックス(東京都港区)

9月26日⑤

福岡朝日ビル(福岡市博多区)

9月19日⑤

⑥⑥企画課

☎ 0795-44-2359 ㊚ 0795-44-2011

✉ office-kaikaku-t@hyogo-u.ac.jp



大学院入学相談室

大学院学校教育研究科(修士課程、専門職学位課程)への入学希望者を対象に電話、ファクス、メールで相談を受け付けます。

◎開設期間 ※いずれも平日のみ

8月選抜 7月6日⑥まで

11月選抜 9月4日⑤～28日⑥

3月選抜 28年1月4日⑥～2月1日⑥

⑥⑥企画課

☎ 0795-44-2359 ㊚ 0795-44-2011

✉ office-kaikaku-t@hyogo-u.ac.jp

平成27年度学校教育学部 オープンキャンパス

高校生やその保護者、高校の進路指導担当者などを対象に開催します。

◎日時 7月19日⑥10:00～16:00

(受付9:30～15:30)

◎場所 加東キャンパス

詳細は本学ホームページをご確認ください。

⑥入試課

☎ 0795-44-2067 ㊚ 0795-44-2069

✉ office-nyushi-t@hyogo-u.ac.jp

編集後記

★今号のテーマは、「就学前教育」です。子育ての悩みを気軽に相談できる相手が身近にいないなど、子育て世代の孤立化が問題となっています。このような状況が乳幼児虐待の一つの要因ではないかともいわれています。兵教大では、子育て支援ルーム「GENKI」を開設しました。この「GENKI」が子育て世代、祖父母世代といった多世代交流の場、就学前教育の場になれば幸いです。(つ)

★「データで見る兵教生」では「オープンキャンパス・大学院説明会」を取り上げました。ともに、兵教大を知る絶好の機会です。参加者には兵教グッズの配布もありますので進路に迷っている方はぜひご参加ください。(や)

※バックナンバーは兵庫教育大学ホームページをご覧ください

◎あなたの声を 聞かせてください

「教育子午線」では、読者の皆さまの声を生かした誌面づくりを目指しています。はがきかメールでご意見、ご感想を寄せていただいた方にオリジナルのボールペンまたは付箋紙を進呈します。

●あて先:〒673-1494 兵庫県加東市下久米942-1
兵庫教育大学
大学広報室
☎0795-44-2431
㊚0795-44-2009
✉office-koho@hyogo-u.ac.jp

June, 2015
vol.38

教育
子午線
Kyoku-Shigosen

第38号 2015年6月発行
発行/国立大学法人
兵庫教育大学 大学広報室
http://www.hyogo-u.ac.jp
編集協力/㈱神戸新聞総合印刷

兵庫教育大学モバイルサイト



スマートフォン



携帯電話

この印刷物は再生紙を使用しています。